**「ラーマクリシュナの福音」勉強会　第１６回　（２０１５年４月２１日）**

**・第１６回の勉強範囲：「第二版の出版のことばと序文」(11)頁**

・📖 **「神の化身シュリー・ラーマクリシュナ」**

（解説）

「シュリー・ラーマクリシュナは神様の化身」そのポイントで、前回、お話していました。

**ふつうの悟った人、ふつうの宗教の先生、聖者、賢者、その方々と、神さまの化身はまったく別の種類である。神様の化身は、クリシュナ、ラーナ、お釈迦様、イエス、そのレベルの方々であり、その方々と、シュリー・ラーマクリシュナのレベルは一緒である。**

また、神様の化身の特徴・しるしについても少し話しましたが、今回は、ラマ―ヌージャ・アーチャリヤという哲学者の方の意見を紹介します。（＊ヴェーダーンタの有名な哲学者は二人いる。シャンカラ（非二元論的）とラマ―ヌージャ（限定された非二元論的）である。）

以下は、**ラマ―ヌージャ・アーチャリヤの考えによる、アヴァターラ（神様の化身）の性格や特徴についての長いリスト**の紹介です。

**・欠点が何も無い。**

**・汚いもの・否定的な性質が何も無い。**

**・善で満ちている。**

**・すべてのもの・すべての生き物と、その御方は異なる。**

**・その御方の知識は無限。**

**・至福も無限。**

**・力も無限。**

**・富も無限。**

**・美しさも無限。**

**・その御方の本性は、我々の考えでは理解できないほど、とても特別。**

**・永遠。**

**・とても明るい。**

**・においもかぐわしい。**

（☞クリシュナは蓮華（ロータス）のにおいのよう。石鹸・香水を使わなくても（笑い））

**・いつも若い。**

**・衰えない。**

**・この宇宙の基礎である。**

**・常に全体である。**

**・偏在である。**

**・この宇宙をつくっています。維持しています。破壊します。**

**・その方は宇宙に現れます。**

**・宇宙に現れて、いろいろな神を礼拝します。**

**・すべてのカルマの結果（たとえば、お金、宗教、解脱の準備など）をあげる人（giver）。**

**・見ることができる御方。**

（☞ブラフマンを見ることはできないが、ブラフマンの化身は見ることができる。人間という形で現れているから。）

**・ひきつける人。**

（☞クリシュナの名前のひとつが「アーカルシャヤティ」。「ひきつける」という意味です。それは「魂をひきつける」という意味で、一度ひきつけられてもあとで離れることになる、身体をひきつけるという意味ではない。一度魂をひきつけられたら、逃げることはできない。それがクリシュナ。身体だけ、心だけでなく、魂をもひきつける。そのシンボルが、フルート（笛）です（＊クリシュナはフルートを吹く）。神様はそれほど魅力にあふれているのです。シュリー・ラーマクリシュナはフルートは吹かないが、しかしどれくらい皆さんをひきつけたでしょうか？　当時コルカタからドッキネッショルまで行くのは大変なことでした。それでも皆さんは行きました。また、ホーリー・マザーはジャイランバティという遠くの田舎に住んでいた。コルカタからそこまで行くのは、電車もなく本当に大変な道のりでした（＊電車がある分、コルカタからベナレスに行く方がラクなくらい）。田舎の道がどれくらい大変か、きっとわからないと思いますが、雨が降ると泥に沈み、夜になればヘビが出てきました。しかしそれほど大変でも、皆さんはホーリー・マザーに会いに行った。どれほどホーリー・マザーがひきつけたか！　ゴーピーたちもそうでした。クリシュナのフルートが聞こえると自分の家族を置いて、クリシュナのもとへ行った、会いたい一心で。「魂をひきつける」──それが神様の化身の特徴です。大変な問題を気にもせず、皆、会いに行きます。）

**・自分の意思で生まれてくる。**

（☞前回説明したように、神様の化身のカルマと誕生は特別だということです。我々の様に、カルマの法則にしばられていません。）

**・子供の時からとても清らか。**（☞前回参照）

**・普遍的な愛。**（☞前回参照）

**・非利己的。**（☞前回参照）

**・最高の霊的知識がある。**（☞前回参照）

**・いつも神様とつながっている状態。**（☞前回参照）

**・ひとを幸せ・平安・至福の道へ導く。**

**・自分がマーヤーをコントロールしている。**（☞前回参照）

（☞すべてはマーヤーにコントロールされているが、神様の化身は、自分がマーヤーをコントロールしている。）

**・「マヤ・ヴィーシャ」すなわち「マーヤーの持ち主」である。**

**・神聖な性質が現れている御方。**

これらのうち、今日のポイントは、「神様の化身は『霊的な経験をあげる人』である」に関して。「霊的な経験」とは何か？　まず「バーヴァ」、英語で「エクスタシー」と言いますが、日本語では何？

（参加者）「恍惚」。

それは、「霊的な考え、または、あるスピリチュアル・ムードにとても深く入っている」状態です。我々にそのような状態があらわれるときもあるが、すぐ消えます。それはバーヴァではない。シュリー・ラーマクリシュナはいつもその状態が続いていた。いつもバーヴァの状態でした。そして神様の化身の恩寵で、信者も、それを体験することができた。神様の化身シュリー・ラーマクリシュナは、信者に霊的な経験をあげていたのです。

**バーヴァに入ると、さまざまな肉体的印（シンプトム）が現れます**。これは聖典や『福音』の中にも書いてあることですが、神様の化身の恩寵で、バーヴァを経験した信者にも実際にその印が現れました。

①**涙（asru　アッスルー**　＊サンスクリット語）

では、霊的な涙と、マーヤーの涙の違いは何か？　それはどこから涙が出ているかで判断できます。マーヤーの苦しみ・悲しみの涙は、目頭から出て鼻の脇をとおって流れます。**バーヴァに入り、神様への愛や霊的な関係で涙が出るときには、目じりから出ます**。本当です。ガウラーンガ（シュリー・チャイタンニャ）もいつも神様への深い愛の状態でいました。ガウラーンガの絵の涙は目じりから出ています。

②**身の毛が立つ**

恐怖で身の毛がよだつときもありますね。しかし**とても深い霊的なムードになると、身の毛だけでなく、髪の毛も立ち、そしてそれらはまっすぐに立ちます**。

　③**ふるえる（kampa　コムポ**　＊サンスクリット語）

寒さや熱で、からだがふるえるのとは異なります。

④**輝く（pulaka　プーラカ**　＊サンスクリット語）

とても喜びの状態のとき、目や顔やいろいろな部分が明るくなり輝きます。神様・霊的な喜びで、この印がからだにあらわれ出ます。もちろん世俗的な喜びとは異なります。

⑤**汗（sveda　スヴェーダ**　＊サンスクリット語）

霊的なムード、バーヴァに入ると汗が出ます。

⑥**熱**

バーヴァに入ると身体がとても熱くなります。

次は**マハー・バーヴァ（偉大なバーヴァ）の印**。

マハー・バーヴァはとても特別。シュリー・ラーマクリシュナ、ガウラーンガといったかただけにその印があらわれました。

①**毛穴から血が出る**

②**さわることができないほど身体が熱い**

『ラーマクリシュナの生涯』の中にその描写があります。タクール（シュリー・ラーマクリシュナ）は身体が熱くて仕方なくてガンジス川に沐浴に行っていました。そのときバイラヴィー・ブラーフマニー（☞『福音』序論p(52)）は直接タクールにさわれなかった。布をかぶせてさわった。それくらい熱かったです。

また、ガウラーンガ・マハープラブが木の下に座ると、葉っぱすべてが焼かれてしまった。

（参加者）えーっ！

それほどの熱。ふつうの人には全く信じられない。しかし、ヴィシュヌ聖典をはじめとしたさまざまな聖典の中にその描写があり、また、近現代に生きていたシュリー・ラーマクリシュナの経験があります。それで、「ははあ、嘘ではない。本当です。その可能性がある」とわかる。

しかし、**マハー・バーヴァより高い印がサマーディ。その状態は「何も出ない」、とっても静か**。すなわち、

①**脈がとまる**

②**心音（ハートビート）なし**

③**（目をさわっても）目が動かない**

④**体が冷たくなる**

これらは医者が「死」と判断した状態、つまり「生きている」印が何もない状態です。このように、サマーディに入ると本当に死人の印が出る。バーヴァ、マハー・バーヴァの印さえ出ません。

（参加者）サヴィカルパ・サマーディも同じ状態になりますか？

サヴィカルパ・サマーディではそこまで出ない。ニルヴィカルパ・サマーディでそのような状態になる。

コシポル・ガーデンハウスで、スワーミージー（スワーミー・ヴィヴェーカーナンダ）にその印が出ましたね。それまでスワーミージーはいつもタクールを困らせていました。「ニルヴィカルパ・サマーディの経験が欲しい、欲しい」とせがんでいた。タクールは「今ではない、あとで、あとで」と答えるので、「もしあなたが亡くなったら、私はいつその経験ができるのですか！」と言ったくらいです。（笑い）そして、コシポルで突然その状態に入りました。

当時一緒に住んでいた兄弟弟子、年長のゴパールがこの状態のスワミージーを見つけて、とても大きな声で泣きながらタクールのところに走って「ナレンが亡くなりました」と言いました。シュリー・ラーマクリシュナは、「Letting be in that condition.　ずっとそれを望んでいたのだから、その状態でおいときなさい」（笑い）

それがニルヴィカルパ・サマーディです。どうして出来ました？　シュリー・ラーマクリシュナの恩寵で。

スワーミージーは霊的な実践をたくさんしていました。が、それは努力でしょう？　しかしその経験は努力だけではできない。だからスワーミージーはタクールにせがんでいたのです、お願い、お願いと。

**自分の努力ではできない。どんなに努力しても、それは神様の恩寵でしかできない。神様のめぐみ。シュリー・ラーマクリシュナの恩寵。タクールはGiver、あげる人。ニルヴィカルパ・サマーディをあげるのはとても特別です。神様の化身は、ニルヴィカルパもサヴィカルパもバーヴァも、すべての霊的経験をあげる人です。ふつうの聖者にこれはできない。少しの経験ならできるかもしれないが、ニルヴィカルパ・サマーディをあげることはできない。しかし神様の化身ならそれができるのです**。

考えてみてください、たとえば超能力。超能力で病気を治すことができます。お金を出すこともできます。マンゴ―のシーズンでなくてもマンゴ―を出すことができます。ペッシアという素晴らしいニオイのバラの本物を出すこともできます。遠い場所の出来事を知ることもできます。ひとの心の内を知ることもできます。これらすべてのことは超能力でできますが、しかし、サマーディの経験は、無理です。スピリチュアル・ヒーラーにも超能力者にもまったくできません。彼らはマジシャンのようです。

サマーディの経験のためには、自分の霊的なレベルがとても高くなければできません。これを考えれば、超能力とはいかに低い次元のものだということが分かる。が、これは普通の人にはわからない・・・。

**高い霊的な力を持つ方の特徴は、「人間の性格を変化する」ことです**。

我々は、たくさん忍耐し、実践し、識別して、自分の性格の欠点を直そうと努力しますが、自分を清らかにすること、それがどれくらい大変か──それは実践しないとわかりません。**人間の性格はサムスカーラ、つまり前世からずっと持ち越された傾向です。だからそれを変化することはとても大変なのです。でも実は、神様の恩寵があれば、すぐにできる。この力はとても偉大**だと思いませんか？　それに比べて病気を治す、物を出すなどの超能力はとても低いレベル。

　皆さんそのことわかりますか？

　**本当に特別な霊的力がなければ「人間の性格を変化する」ことはできません。「人間の性格を変化する」とは、①その人の否定的な性格を変えて、肯定的な性格にする。②ラジャスとタマスでいっぱいの状態から、サットワ的にする**。

**「人間の性格を変化する」ことと、「霊的な経験（バーヴァやサマーディなど）」のために、どれくらいの実践が必要か、分かりますね？　どれほど瞑想したら、どれほどタパッシャ（苦行）をして、どれほど訓練したらそれが可能か！　しかし、それでもその経験はできない──それを本当の求道者は理解していきます。そしてそれができるのは神様の化身だけ。シュリー・ラーマクリシュナ、神様の化身の、考えと意志と恩寵で、すべてが可能になる**のです。神様の化身はGiver the spiritual experience。『ラーマクリシュナの生涯』にその例が出ています。

「たいへんな罪びとも聖者になる」──イエスにも、お釈迦様にも、この恩寵の例がありますね。シュリー・ラーマクリシュナもギリシュ・チャンドラ・ゴーシュを変化させました。有名な例です。ギリシュ・チャンドラ・ゴーシュには素晴らしい才能がありました。しかし悪い性格もたくさんありました。シュリー・ラーマクリシュナは「ギリシュ、あなたの変化にみんなびっくりしますよ」と言いました。そしてシュリー・ラーマクリシュナの恩寵で、本当に皆さんが驚くほどの聖者になりました。ギリシュだけではなく、もちろんほかの人びとの例もあります。

　**「罪びとが聖者になる」──これは超能力ではできない、ふつうの聖者もできない。**

次はおもしろいポイントです。「シュリー・ラーマクリシュナはどのようにその経験をあげていましたか？」

①「**さわる**」。さわって、その経験をあげていました。

②「**見る**」。それでその経験ができていました。

③そのようにしなくても、「**意志**」だけで。スワーミージーはタクールの近くにいなくてもその経験をもらっていました。

④**自分がさわらない、ほかの人がさわっても**、そのときもできていました。

シュリー・ラーマクリシュナは、そのようなやり方で、**悪い性格を良い性格に、世俗的な性格を霊的な性格に変化させ、ずっと前の前世から持つ、深い深いサムスカーラきれいにし、霊的な経験（バーヴァ、サマーディ）をあげていました**。

具体的な例。

ひとつ例は、アドブターナンダジ（ラトゥ。シュリー・ラーマクリシュナの直弟子）。この方はシュリー・ラーマクリシュナの信者だったラームチャンドラ・ダッタの召し使いでした。学校には全く行かなかった。何の学歴もない召し使いでしたが心は清らかでした。当時、シュリー・ラーマクリシュナのお世話をする人がいなかった（＊ホーリー・マザーもいなかった）ため、ラームチャンドラはラトゥをタクールに遣わせました。

あるときラトゥがシュリー・ラーマクリシュナをマッサージしていると、ラトゥはこうたずねられました、「ロト（シュリー・ラーマクリシュナはラトゥをレトとかロトとか呼んでいました）あなたのイシュタ神様（信者が選んだ神様）ラーマはいま何をしているか分かりますか？」。ラトゥはぜんぜんわかりません。「ラーマ神様はいま、とても小さい針の穴にとても大きなゾウを通しています」

この意味わかりますか？　アドブターナンダジはのちに自分で説明しました、小さい私の中に偉大な霊的な力を入れている、その意味ですと。私の霊的な場所はとても小さい、霊的なものはあまりないみたいですが、シュリー・ラーマクリシュナは、その中にたくさん霊的な力を入れてくれました、マッサージをしていたそのときに。

別の例。

ブラフマーナンダジ（ラカル）はお金持ちの息子で、お金持ち特有のうぬぼれがありました。最初か二度目の訪問の時、ベッドにもたれていたシュリー・ラーマクリシュナはラカルに、足が痛いからマッサージをしてほしいと頼みました。しかしラカルは「ええっ私が？　それは召使いの仕事でしょう？　いたしません」と答えたのです。でも、シュリー・ラーマクリシュナは頼み続けます。それでもラカルは、「なぜ突然マッサージを頼むのですか？　お話をつづけてください」と拒んでいたのですが、あまりに子どものように頼むので、とうとういやいやマッサージを始めました。

すると、どこからか分からないが突然マザー・カーリーが現れて、シュリー・ラーマクリシュナのベッドを何回も、早く回って、そしてシュリー・ラーマクリシュナの身体の中に入っていったのです。「あれ？　このひとはマジックを知っているのだろうか？」しかししっかり目を開けて見ていましたから、ブラフマーナンダジはとてもびっくりしました。（これはあとで自ら語られました）

シュリー・ラーマクリシュナはそのときこう言いました、「サドゥ（お坊さん）をお世話するとどのようなことが起こるか、わかりましたか？」と。もちろん、シュリー・ラーマクリシュナのようなサドゥのかたのお世話。それを「少しだけでもすると、その結果はどれくらい大きいか、わかりましたか？」。ブラフマーナンダジは黙って・・・（笑い）、マッサージをしたくないとは言わなくなりました。

これは恩寵ではないですか？　ふつうの人にはできない。

「シュリー・ラーマクリシュナはどのように霊的な経験をあげたか」今回は二つだけ例を挙げましたが、おもしろい例はまだあります。これはふつうの聖者、ふつうの賢者にはできない。とっても特別。

イエスやお釈迦さまの生涯はなかなか知ることはできないが、シュリー・ラーマクリシュナについては、記録があるから知ることができます。『ラーマクリシュナの生涯』を読むと、本当に詳しいことが載っています。シュリー・ラーマクリシュナにはGiver the spiritual experienceの例がたくさんありました。

（『福音』勉強会第１６回、以上）